

以前、某幼稚園で日々を共にした子ども達の中にEちゃんがありました。笑顔のかわいいなつっこい女の子です。難産が原因で、脳の一部に障害があり、言語・発育にも遅れがみられるといわれて入園してきました。毎日を共にしているとEちゃんの「障害」は見えません。脳の、計算を司る部分に障害があるといわれているのですが、幼稚園の生活では支障はないからです。順番は友達の色を見てわかるし、数を数えることも六以上はわからなくなるようですが、両手の指を見ながら友達に楽しげに教わっている光景がよく見られました。卒園時には両手の指を使えば、十まで数えました。数の

(?)専門家は、数えたのではないとおっしゃるかもしれませんが……。

言語も発育も、在園二年間に伸び、生活を共にしている者達は、誰もEちゃんに障害があるとは思っていませんでした。ところが「E子は障害児だ。数学ができない子だ。」とあちこちで話している人がいました。Eちゃんのおかあさんです。「E子は小学生になったら落ちこぼれる。どうしよう。」と、よく不安をうちあけにみえました。そのたびに、日常生活には何の不安もないこと。むしろ生き生きしていることの大切さ。数学がわからないとしても、生きていく上では他の部分が補なって余りある等、その都度お話しするのですが、定期検診で脳専門の医療機関へいくたびに、大きな不安におそわれるようでした。

某私立小学校に進み、「算数の成績が伸びなければ進級は難しい。」と毎年、校長室に呼ばれながら高学年になっていきます。

Eちゃんのおかあさんから便りが届きました。中学生生活への不安が何枚にも渡って書かれてありました。

今月号の津守先生の文章をEちゃんのおかあさんに是非読んでもらいたい、もうすぐ中学生になるEちゃんに会いに行こう、そう思いました。

(Y)

幼児の教育 第八十七巻 第五号

五月号 ◎

定価 四〇〇円

昭和六十三年 四月二十五日 印刷

昭和六十三年 五月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。